



三中だより

令和6年12月25日

12月号

調布市立第三中学校

Pay It Forward.

副校長 岡本 明久

今月12日、今年の漢字に「金」が選ばれました。これは、今年行われたパリ五輪・パラリンピックで日本選手が多く
の金メダルを獲得したことや政治をめぐるお金の問題などが注目されたことなどから選出されたということです。この1
年を振り返ると様々な出来事がありました。そんな今年も残り6日となりました。

今日はクリスマスですね。きっと家族や友人など皆さんにとって大切な人と過
ごす人は多いはず。そしてクリスマスが終わると、1週間足らずで新しい年を迎
えます。しかし、世界に目を向ければ、ウクライナやパレスチナをはじめ、来年
どころか明日、生きているかどうかわからないという悲惨な状況の中で過ごさ
ざるを得ない多くの方々がいらっしゃいます。その中には中学生などの子供たち
も多く含まれています。なぜ、人間はいつまでたっても争いのない平和な世界を
作ることができないのでしょうか。「自分たちの住む世界をよいものに変えるには何を
したらよいか、考えて実行しなさい。」もし、そのような宿題が学校から出されたら、あなたならどうしますか。



これはある映画の話です……。中学1年生の少年は、その答えを一生懸命考えます。少年は、「3人の人に優しい
親切な行いをする。そして、その人たちに、別の3人に同じような行いをして、親切を次の人に渡してほしい、と願
いする。」というアイデアを思いつきます。そうすれば、3人が9人、9人が27人、81人、243人、729人、2,187人
と、どんどん親切の輪が広がっていく。世界中に親切の輪が広がれば、世界は今よりずっとよいもの変わっていく
はずだと、少年は考えたのでした。

街を歩いていた少年は、まず一人目の人を見つけます。それは、薬物中毒からなかなか抜け出せないホームレス
の若い男です。少年は、その男を自宅に招き入れ、食事を一緒にし、シャワーを使わせてあげて友達になりました。
そして、自宅のガレージにあるトラックの荷台で寝泊まりするのを許可します。でも、そのことを知った母親にきつく叱
られます。後日、少年は再びその男性を街で見つけます。ところが、男は以前と同じような薬物中毒に戻ってしまっ
ていました。少年は、それでもめげずに第二の親切「不幸な人生を歩みながらも一人で自分を育ててくれる母に、幸
せになってもらうこと」、第三の親切「自分のクラスの中でいじめられている友達を救うこと」を、困難にめげずに実行
しようと頑張ります。

それが今から24年前の2000年に公開された「ペイフォワード」というアメリカ映画の内容です。この後どのような
展開になるのか、それは言えませんが、ラストは決してハッピーエンドではありません。

ちなみに、ホームレスの男は、その後、橋の上から飛び降りようとしている女性を一生懸命説得し、思いとどまらせ
て救います。女性から「どうして助けてくれたの？」と尋ねられた男は、「自分に親切にしてくれた少年から、その親切
を次に渡せと言われたからだ。」と答えました。「それを次に渡せ。」英訳すると、「Pay It Forward.」。この映画の原題
になっています。これは一人ひとりの人間が互いに無償（見返りを求めない）の愛を提供しあう優しい関係性を表す
言い方です。無償の愛を提供しあえる世の中になるといいのに……。『Pay It Forward.』（ペイフォワード）

『来年こそ世界中の人々にとって良い年になりますように。』今年最後の挨拶とさせていただきます。

2年生校外学習

11月29日（金）2年生が鎌倉での校外学習を行いました。昨年度の東京校外学習を踏まえ、実行委員を中心にスローガンやルールを決め、事前学習では班ごとに計画を立て見学場所を選定するなど準備を進めてきました。当日は天候にも恵まれ、生徒達は鶴岡八幡宮で先生のチェックを受け、フォトコンテスト用の写真を工夫して撮るなど、時間や予算にも気を配り自分たちで決めたルールに則り行動しました。この校外学習での経験を来年度の修学旅行に生かしていきましょう。



調布市『いのちとこころの教育月間』いのちの授業

11月30日（土）に道徳公開講座「いのちの授業」を行いました。2校時の公開講座には岸田 徹氏、坪内 朱音氏を講師としてお招きし、ご自身のがん闘病経験を通じて伝えたいことを語っていただきました。講話は生徒達にもわかりやすくユーモアを交えてお話してくださり、講演後は生徒同士でテーマに沿った話し合いも行われました。生徒達からは「自分だけでなく身近な人ががんに罹ってしまった場合どのようにしたらよいかを初めて考えました」などの感想が出るなど改めて「がん」についての知識を深めることのできた講演となりました。また、保護者の皆さまにおかれましては1校時の道徳授業を含め公開講座にも多数ご参加いただきました。ありがとうございました。



三中SNSルールの策定を生徒主体で取り組んでいます

SNSが生活の中で不可欠となった一方で学校内や生徒間でのトラブルが後を絶ちません。現在、生徒会役員が中心となり「SNSの使い方に関するアンケート」を実施、それらを基に「三中SNSルール」を検討しています。冬季休業に入ることもあり、ぜひご家庭でも「トラブルなく使えているか」などの声掛けをしていただけると幸いです。